

令和元年度 第6回教育研究評議会議事要旨

1. 日 時 令和元年9月4日（水）13：12～14：53
2. 場 所 百周年中村記念館 特別会議室
3. 出席者 学長，理事（教育・財務担当），理事（研究・産学連携担当），
理事（国際・評価担当），理事（総務・労務担当）
副学長（学生・附属図書館担当），副学長（情報担当），
工学研究院長，生命体工学研究科長，副工学研究院長（副工学府長），
副工学研究院長（副工学部長），副情報工学研究院長（副情報工学府長），
副情報工学研究院長（副情報工学部長），副生命体工学研究科長
4. 列席者 近藤監事，林田監事

5. 議事要旨確認

令和元年度第5回（令和元年8月1日）の議事要旨（案）について確認が行われ，了承された。

6. 報告事項

- (1) 110周年記念フォーラムについて (机上配付)
学長から，8月23日に東京にて開催した110周年記念フォーラムについて報告があり，開催にかかる協力への謝辞があった。
- (2) 教育職員選考委員会の設置について (資料1)
学長から，本日の役員会において以下の教育職員選考委員会の設置されたことについて報告があった。
① IR室 准教授（専門職） 1名
- (3) 令和元年度科学研究費助成事業の内定状況について (資料2)
理事（研究・産学連携担当）から，令和元年度科学研究費助成事業内定状況（当初）について報告があった。また，教授が若手教員の申請書類を提出前に確認するなど，採択率の向上に向けて組織的に協力するよう要請があった。
- (4) 科研費の学内説明会について (資料3)
理事（研究・産学連携担当）から，科研費の学内説明会を9月11日（水）に開催することについて報告があった。
学長から，科研費制度の変更について理解を深めるため，今後はFDの一環ととらえ，出席者を把握することとし，特に，若手教員は出席するように周知要請があった。

- (5) 革新ロボットフォーラム（地方大学・地域産業創生交付金事業）開催について
（資料4）
理事（研究・産学連携担当）から、革新ロボットフォーラム（地方大学・地域産業創生交付金事業）を9月24日（火）に開催することについて報告があった。
- (6) 教育職員選考委員会の経過報告について
（資料5）
工学研究院長から、次の教育職員選考委員会の経過報告について報告があった。
①工学研究院機械知能工学研究系 准教授または助教 1名
- (7) 部局間交流協定の締結について
（資料6）
工学研究院長から、次の部局間交流協定の締結について報告があった。
①工学部とローマ・ラ・サピエンツァ大学建設産業学部（イタリア・新規）
- (8) 部局間プログラム合意書の締結について
（資料7）
副情報工学研究院長から、次の部局間プログラム合意書の締結について報告があった。
①情報工学部と国立台湾大学教育学習センター（台湾・更新）
- (9) 令和2年度予算の概算要求について
（資料8-1, 8-2）
会計課長から、令和2年度予算の概算要求について報告があった。併せて令和元年度運営費交付金の配分にかかる評価結果についても報告があった。

7. 審議事項

- (1) 大学間プログラム合意書の締結について
（資料9）
理事（国際・評価担当）から、次の大学との大学間プログラム合意書を締結することについて説明があり、審議の結果、了承された。
①ペトロナス工科大学（マレーシア・新規）
- (2) 大学間交流協定の締結について
（資料10）
理事（国際・評価担当）から、次の大学との大学間交流協定等を締結することについて説明があり、審議の結果、了承された。
①クラークソン大学（アメリカ・新規）
②ベトナム国家ホーチミン市情報工学大学（ベトナム・新規）
③国立台湾科技大学（台湾・更新）
- (3) 昇任適格審査委員会の審査結果について
（別添資料1）
生命体工学研究科長から、昇任適格審査委員会の審査結果について説明があり、審議の結果、今後の改善を期待することを伝える趣旨を含めて、了承された。

- (4) 教育職員に関する昇任適格審査委員会委員の交代について (別添資料2)
生命体工学研究科長から、次の教育職員に係る昇任適格審査委員会の委員交代について説明があり、審議の結果、了承された。
生命体工学研究科 人間知能システム工学専攻 人間知能創成講座 1名

8. その他

- (1) 衛星開発プロジェクトにかかるクラウドファンディングについて
衛星開発プロジェクトにかかるクラウドファンディングが、11月21日(木)まで、目標金額を100万円として実施中であることについて報告があった。
学長から、クラウドファンディングには、募金活動のほか、社会に対し大学の活動を伝える広報としての側面もあるため、積極的に、提案及び周知するよう協力依頼があった。
- (2) 教員との対話について
学長から、教員アンケート結果に基づき、教員との対話を行ったことについて報告があった。対話での意見については、改めて情報共有を行いたい旨補足説明があった。
- (3) 文部科学省との対話について
学長から、第4期に向けて、文部科学省との対話が、来年にかけて実施予定であり、第4期のビジョンを検討に向けて、各部局に協力依頼があった。
- (4) 教員の研究時間確保について
理事(総務・労務担当)から、教員の研究時間確保に向けて、全学委員会廃止や、部局における委員会等などを廃止する等、積極的に業務見直しを行うように要請があった。
- (5) 教育研究評議会の次回開催日について
令和元年10月2日(水)午後1時30分から百周年中村記念館特別会議室で開催する予定。